

なんでも 南部分署



河川やプールなどでの水の事故を防止しよう！

夏は河川でバーベキューをしたり、プールなどに出かけたりする機会が増えて楽しい季節ですが、おぼれて救急搬送される事故も、この時期に多くなります。河川やプールなどでおぼれる事故は、生命を脅かす事故となる可能性が高いことから、十分な注意が必要です。

河川やプールなどで水の事故を防ぐために

- 小さい子どもと一緒に水遊びする際は、子どもから目を離さず、保護者や大人が必ず付き添って遊びましょう。
- 飲酒後や体調不良の時は遊泳を行わず、そのような人が遊泳しようとしている時は、遊泳をやめさせましょう。
- 海や河川では、気象状況に注意を払い、荒天時や天候不良が予想される場合は、遊泳や川岸などでのレジャーを中止しましょう。
- 海や河川では、ライフジャケットを着るなど、事故の未然防止に努めましょう。

【溺れてしまった人の基本動作】

- 1 背浮きで呼吸を確保
- 2 身近な浮遊体で、浮き時間を伸ばす

【発見者・救助者の基本動作】

- 1 ペットボトルや靴、鞆など、浮力のある物を相手に投げる
- 2 「子どもを見守る人」「通報する人」に分かれ 消防119番に通報
- 3 溺れてしまった人に声がけを忘れない

【溺れてしまったときにやってはいけないこと】

- 1 水面から顔を出し、息を吸おうと試みる
- 2 手を挙げて助けを試みる

この二つをやってはいけない理由が、体が水面に対して垂直になり、水面下に沈みやすくなるためです。冷静な判断が難しくなる上、体が沈むことで水を吸い込んでしまい呼吸困難となります。着衣のまま水難事故に遭遇するケースが多く、靴や洋服を身に着けた状態で泳ぐことは至難の業です。

そんな緊急時に思い出してほしいのが おぼれた時の合言葉「浮いて待て!!」



これらのことを覚えて、もしものことの出来事に対応できるようにしていきましょう！

〈問い合わせ〉 阿蘇広域行政事務組合 消防本部 南部分署 TEL0967(62)9034 火事・救急 119

南阿蘇谷人たちの美術館・子どもイベント参加者募集♪



今年10月に21回目を迎える谷人たちの美術館では、「消しゴムハンコで絵ハガキを作ろう!」と題し、6月に村内の小学校・中学校にチラシを配り、作品を募集しました。たくさんのご応募をありがとうございます。募集作品から、谷人たちの美術館実行委員会が1作品を選び、その絵を消しゴムハンコにします。参加希望者は、下記連絡先までお申し込みください。

■対象：村内の小学校5年生・6年生・中学生の希望者(19人)

※彫刻刀を使うため、高学年に限定しています ※先着順です。定員に達したら受付を終了します。

■開催日：8月6日(水) 午前10時30分～午後0時30分 ■場所：LOOPみなみあそ 2階 フリースペースA

■お問い合わせ・お申し込み：谷人たちの美術館実行委員会 TEL090(3206)9315(担当：マスダ)